

飼料用のにんにく、とうがらし、海藻製品について

我国では、にんにくやとうがらしは食欲の増進や健康の維持に効果があると云われ、古くから食用とされていますが、ヒトと同じような効果を期待して、家畜や家禽の飼料にも利用されています。また、海藻粉末も同様な効果やミネラルなど天然の微量栄養素の補給を目的として飼料に利用されています。

現在、我国で流通している飼料用のにんにくおよびとうがらしは、ほとんどが中国産で、粉末と顆粒状の製品があり、配合飼料工場で使用される場合は季節を問わず飼料に添加されていますが、畜産農家では夏季や冬季に用いられることが多いようです。また、にんにくは鶏、肥育豚および繁殖豚に与えることが多く、とうがらしは主に採卵鶏に用いられ、卵黄色の改善にも効果があると云われています。

家畜用の海藻製品は、褐藻類を乾燥し、細切あるいは粉末にしたもので、ノルウェー産の製品が最も多く流通しています。家畜・家禽全般にわたって使用されていますが、採卵鶏および繁殖豚に用いられることが多いようです。



にんにく製品（フレーク）

にんにく製品（顆粒）

流通実態

飼料用のにんにく、とうがらしおよび海藻製品は、いずれも原料を粉砕あるいは粗砕きした状態の製品（一次製品）と、脱脂米ぬか、大豆粕、炭酸カルシウム等の飼料原料と混合した製品、ビタミン、ミネラル、アミノ酸等と混合した製品（二次製品）等が流通しています。これらの製品の製造（輸入）量を取りまとめると表に示したとおりです。

これらの製品は畜産農家で配合飼料に添加されることが多く、添加量は使用目的や製品の特性によって多少異なりますが、にんにくおよびとうがらし製品では0.1～0.3%、海藻製品では0.2～0.5%程度が一般的で、畜種による相違はあまりないようです。

種 類	製造・輸入量（トン／年）	
	一次製品	二次製品
にんにく製品	700	330
とうがらし製品	100	40 以上
海藻製品	4000	250 以上



とうがらし（中国産）

海藻製品（ノルウェー産）

製品の品質と利用上の留意事項

にんにくおよびとうがらし製品は、品質規格を定めていない製品が多く、品質に関する表示もされていない製品がほとんどでした。しかし、ほとんどが食用として輸入したものの中から、製品価値が劣るものを飼料用として販売しており、いくつかの製品について粗灰分、鉛および一般細菌数等を分析したところ、家畜の健康や生産物の安全性が懸念されるような値はありませんでした。

海藻製品も天然物ということで、製品規格や品質表示等がないものがほとんどでしたが、にんにく製品などと同様な分析を行ったところ、家畜の健康や生産物の安全性が懸念されるような値はありませんでした。

しかし、にんにく製品では、有効成分の一つといわれているアリシン含量を分析したところ、製品によって大きく異なっていました。また、とうがらし製品では、保管条件が悪いとカビが生えたり、虫が発生することもあるとのこと。海藻製品でも土砂が著しく多い製品がありました。これらのことは、製品によって品質に大きな差がある可能性を示唆しており、これら製品を利用する場合には、産地や製造工程、包装形態や保管条件を確認して、その製品の特性と品質を良く理解した上で、使用目的にあった製品を上手に利用することが肝要です。

なお、これらの製品は、いずれも吸湿性が高く、湿気を吸うと堅く固まったり、前述したような問題が起きる可能性が強いため、農場に保管する場合も注意する必要があります。